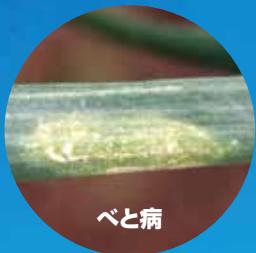


殺菌剤

シグナム[®] WDG

®:BASF社の登録商標

たまねぎの
べと病・小菌核病・
灰色かび病防除に!



べと病



小菌核病



灰色かび病



白色疫病

適用病害と使用方法(たまねぎ抜糸)

作物名	適用病害名	希釀倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを 含む農薬の 総使用回数	ボスカリドを 含む農薬の 総使用回数
たまねぎ	灰色腐敗病、灰色かび病 べと病、小菌核病 白色疫病	1500	100 ～ 300	収穫7日前まで	3回 以内	散布	4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)	4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)
	灰色腐敗病	500	—	定植直前	1回	5分間セル苗浸漬 5分間苗根部浸漬		

たまねぎ／灰色腐敗病

キャベツ／菌核病

はくさい／白斑病

レタス／灰色かび病

アスパラガス／茎枯病

トマト／葉かび病

すいか／炭疽病

いちご／うどんこ病

にんじん／黒葉枯病

にんにく／さび病

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2020年7月の知見に基づいて作成されています。

2つの有効成分で幅広い病害をブロック!

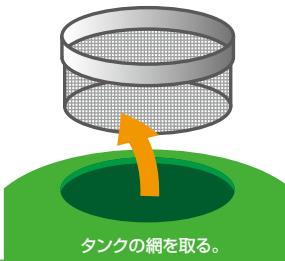
●作用性の異なる2つの有効成分で、広範囲の病害を抑えます。●優れた予防効果と残効性を発揮します。

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを含む農業の総使用回数	ボスカリドを含む農業の総使用回数
たまねぎ	灰色腐敗病	500	100 ~ 300	定植直前 収穫7日前まで 収穫14日前まで 収穫7日前まで 収穫3日前まで	1回	5分間セル苗浸漬 5分間苗根部浸漬	4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)	4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)
	灰色腐敗病、灰色かび病 べと病、小菌核病 白色疫病	1500			3回以内			
	ねぎ	べと病、白斑病、さび病			2回以内			
	キャベツ	菌核病、株腐病、黒斑病			3回以内			
	べと病	1500~2000			3回以内			
	はくさい	菌核病、炭疽病			3回以内			
	白斑病、黒斑病	1500~2000			3回以内			
	べと病、白さび病	2000			3回以内			
	レタス	灰色かび病、菌核病、すそ枯病			2回以内			
	べと病	1500~2000			2回以内			
非結球レタス	灰色かび病、菌核病、すそ枯病	1500			2回以内			
	べと病	1500~2000			2回以内			
	プロッコリー	菌核病、黒すず病			2回以内			
	べと病	1500~2000			2回以内			
	バジル	2000			2回以内			
	アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病	100~500		2回以内			
	さやえんどう 実えんどう	灰色かび病、さび病	1500		2回以内			
	なす	うどんこ病、褐色斑点病	1500		2回以内			
	トマト ミニトマト	すすかび病、うどんこ病、菌核病	2000		2回以内			
	ピーマン	うどんこ病、炭疽病、黒枯病 灰色かび病、斑点病	100~300		2回以内			
とうがらし類	うどんこ病、炭疽病 黒枯病、灰色かび病	1500~2000	2回以内					
	すいか	炭疽病、うどんこ病 つる枯病	1500~2000		2回以内			
	かぼちゃ	菌核病、褐色腐敗病	1500		2回以内			
	いちご	うどんこ病、炭疽病	1500~2000		2回以内			
	にんじん	黒葉枯病、うどんこ病、斑点病	2000		2回以内			
	にんにく	さび病、白斑葉枯病 黄斑病、葉枯病	1500		2回以内			
					3回以内			
					3回以内			
					3回以内			
					3回以内			

シグナムWDGの溶かし方

タンクに水を張った後、タンクの網を取って、直接タンクにさらさらと振るように入れてください。



※シグナムWDGは水中での分散性が優れているので、タンクの中でただちに分散し均一に溶け込みます。

△効果・葉害等の注意

- 散布液調製の際は、水をかきませながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 本剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- なしに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると葉害が生じるおそれがあるので、させてください。
- 畜に対して影響があるで周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- 本剤は眼に対して刺激があるので眼に入らないように注意してください。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。

- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。

△水産動植物への注意

- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

△貯蔵上の注意

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。